\第15回/

阪急阪神 未来のゆめ・まち基金

助成プログラム

阪急阪神沿線で活動する

市民団体を大募集!

応募期間 2023 9/1(金)～10/16(月)

当社グループは「阪急阪神ホールディングスグループ　サステナビリティ宣言」に基づき、持続可能な社会の実現に向け、様々な施策を進めています。その一つであるグループの社会貢献活動「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」では、「未来にわたり住みたいまち」づくりに向けた活動を推進しており、その実現のために沿線地域の皆様との協働が大切だと考えています。そこで、この考えに賛同する従業員が募金を行い、集まった募金と同額を会社が上乗せして、ゆめ・まちプロジェクトの重点領域である「地域環境づくり」や「次世代の育成」に取り組む阪急阪神沿線の市民団体への助成を行っています。

阪急阪神ホールディングスグループ

募集団体数 15団体程度

助成金 1団体あたり 部門Ⅰ 50万円 部門Ⅱ 100万円 [使途自由で、使いやすい]

〈募集分野〉

地域環境づくり

地域の安全・美化運動、里山保全、地産地消、地域の文化芸能の保全・活用、まちづくりなど

次世代の育成

こども達のための自然体験、環境教育、文化・芸術・スポーツ活動、国際理解教育、困難な状況にあるこどもの支援など

4 質の高い教育をみんなに　11 住み続けられるまちづくりを　17 パートナーシップで目標を達成しよう

SDGs※の目標4もしくは目標11の達成を意識し、目標17で重視するパートナーシップを組んで行う活動 ※裏面参照

〈プログラムの特徴〉

1. **阪急阪神沿線で活動する市民団体に助成**
   当社グループ発祥の地「阪急阪神沿線」の市町で活動する団体に助成することで、より地域の発展につながる活動を支援します。
2. **助成金は使途自由で、運営資金にも利用可**
   助成金の使途は自由で、既存事業・新規事業いずれの運営資金にも利用可能。市民団体にとって使いやすい助成金です。
3. **グループ従業員の募金を基にした助成金**
   従業員有志の募金による「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」の積立金に、当社が同額を上乗せして助成します。
4. **助成金額が異なる2つの募集部門**
   様々な規模の市民団体を支援するため、支出規模に応じ、助成金額が異なる2部門を設定します。
5. **広報PRもお手伝い**
   沿線情報紙「TOKK」や従業員向けの情報発信などを通じて、団体の活動やイベント情報を広報PRするほか、お客様向けイベントを協働で実施しています。

阪急阪神ホールディングスグループ
サステナビリティ宣言

未来のため、まちのため、そのキモチを応援したい。

「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」第15回助成プログラムについて

1 募集分野（A・Bどちらか1つの分野に当てはまれば結構です）

A.「地域環境づくり」
地域コミュニティが、安全・安心かつ文化的で環境に配慮しながら発展する、持続可能なまちづくり

B.「次世代の育成」
未来の地域社会を担うこども達が、夢を持ち、健やかに成長する機会づくり

募集分野においてはSDGsの目標4もしくは目標11との関わりを、また、実施手段として目標17のパートナーシップを重視して、選考を行います。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGsとは、「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称です。2015年9月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟国が2030年までに17分野で社会課題の解決を達成することを目標に掲げています。阪急阪神ホールディングスグループは、持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

※詳しくは募集要項8ページ参照

2 募集部門（いずれかの部門を選択してご応募ください）

様々な規模の市民団体を支援するため、支出規模に応じ、助成金額が異なる2部門を設定します。

部門Ⅰ（50万円を助成）［12団体程度］
対象：募集分野に関わる地域・社会の課題に取り組むすべての団体。支出規模は問いません。

部門Ⅱ（100万円を助成）［3団体程度］
対象：募集分野に関わる地域・社会の課題に取り組む団体で、年間支出額300万円以上の団体を想定しています。
（※これまでの活動の先駆性や市民団体ならではの優れた事業モデルを持つかを重視して選考します。）

3 助成対象団体の要件（一部抜粋）

（1）公益的な活動を行う非営利の市民団体（特定非営利活動法人、社団法人、財団法人、任意団体など一般社団法人・一般財団法人は非営利型に限る）で、阪急阪神沿線の市町※1を活動フィールドとすること。
（※1）京都市、向日市、長岡京市、大山崎町、大阪市、豊中市、池田市、吹田市、高槻市、茨木市、箕面市、摂津市、島本町、豊能町、神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、猪名川町

（2）募集分野（「地域環境づくり」または「次世代の育成」）における活動実績があり、2024年4月1日現在で団体設立から3年以上経過していること。

（3）団体を構成する会員が5人以上いること。

（4）定款、会則またはこれに相当する規約等を整備し、事業報告書やニュースレターなど、過去の活動実績がわかる書類を発行していること。

＊その他、書類の提出や公開などに関して要件があります。詳しくは「募集要項」を助成事務局ウェブサイトから入手してご覧ください。

4 応募期間

2023年9月1日（金）～10月16日（月） 13時まで※期日厳守
応募書類一式をメールにて下記助成事務局にお送りください。
持参による提出は受け付けません。
＊応募書類は返却できませんので、申請時は必ず控えをお取りください。

5 選考方法・選考基準

主催者が行う書類選考と選考委員による本選考により、次の観点から総合的に評価し、決定します。

①整合性：プロジェクトの重点領域※1に沿い「SDGs」※2の目標4もしくは目標11を意識した活動を行っている。
②活動目的の社会性：公益性や重要性が高く、市民が取り組む意義がある。
③活動実績：活動目的や社会的背景を踏まえた活動の実績がある。
④企画力：ニーズ等の分析が的確で、目的達成に向けての計画が具体的かつ実現可能である。
⑤連携と共感：「SDGs」の目標17・ターゲット17.17に沿っており、多様な人々との連携に向けて開かれ、市民や当社従業員から共感・参加を得やすい。
⑥組織の継続発展性：組織・事業が継続する仕組みがあり、今後の発展の可能性がある。

※1 募集要項7ページ参照　※2 募集要項8ページ参照

6 助成実施までのスケジュール

2023年10月16日(月) 13時 応募締切 ▶ 2023年11月 書類選考 ▶ 2024年2月 本選考（面接あり） ▶ 2024年3月 助成対象団体決定 助成金のお渡し

※状況により、選考をオンライン形式に変更する等一部内容を変更する可能性があります。

7 募集説明動画の公開

助成事務局のウェブサイト〈https://osakavol.org/news/subsidy/yumemachi2023.html〉に、基金の概要や申請書の書き方等を説明する動画を掲載しています。記入にあたってご留意いただきたい点もお伝えしていますので、申請前になるべくご視聴ください。
（視聴時間約15分×2本の30分）
また、同ウェブサイトの「よくあるQ&A集」もご確認いただくよう願います。

8 助成事務局（お問合せ・申請書類送付先）

社会福祉法人 大阪ボランティア協会（担当：市居（いちい）、江渕（えぶち））
〒540-0012 大阪市中央区谷町2-2-20 2F 市民活動スクエア「CANVAS（キャンバス）谷町」
TEL 06-6809-4901 FAX 06-6809-4902 メール yumemachi@osakavol.org
※問合せフォーム〈https://forms.gle/ucBEQ7eXyiKqUuVp6〉

「募集要項」「助成申請書」 ダウンロードページ（大阪ボランティア協会HP内）
※URL〈https://osakavol.org/news/subsidy/yumemachi2023.html〉
＊申請についてのお問合せは、「募集要項」「助成申請書」をご覧の上、助成事務局まで電話または問合せフォームでお願いします。＊「募集要項」「助成申請書」は、上記ウェブサイトからダウンロードしてください。ダウンロードできない場合は、助成事務局に電話または問合せフォームで請求できます。

第14回 助成対象団体一覧（分野別50音順）

地域環境づくり
- ○川西黒川 HATAKE CLUB
- ○京都西山・大原野保勝会
- ○久保川と天王山の森を守る会
- ○樹木研究会こうべ
- ○たかつき環境市民会議
- ○はにコット実行委員会
- ○東多田里山の会
- ○籔の傍（やぶのそば）
- ○淀川アートネット

次世代の育成
- ●今津フレンドリーキッズ
- ●大阪府青少年活動財団
- ●親子で手しごと いいねっこ
- ●しぶちー
- ●吹田子ども支援センター
- ●bioa（ビオア）
- ●フリンジシアター アソシエーション
- ●よどがわおやこ劇場

過去14年間実績
（助成総数）183団体
（助成総額）1億906万円

※この用紙はFSC認証の印刷紙を使用しています。